

平成18年10月26日

各位

会社名 横浜ゴム株式会社
代表者名 取締役社長 南雲 忠信
(コード番号 5101 東証第1部)
問合せ先 執行役員経理部長 藤原 英雄
(TEL. 03 - 5400 - 4520)

平成19年3月期中間(連結・個別)業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成18年5月11日の決算発表時に公表した平成19年3月期中間期(平成18年4月1日~平成18年9月30日)の業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 19年3月期中間連結業績予想数値の修正(平成18年4月1日~平成18年9月30日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成18年5月11日発表)	220,000	1,100	600
今回修正予想(B)	222,000	3,000	3,300
増減額(B-A)	2,000	1,900	2,700
増減率(%)	0.9%	172.7%	450.0%
(ご参考) 前期(平成17年9月中間期)	201,260	4,033	13,363

2. 19年3月期中間個別業績予想数値の修正(平成18年4月1日~平成18年9月30日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成18年5月11日発表)	153,000	4,300	4,000
今回修正予想(B)	155,000	5,500	5,500
増減額(B-A)	2,000	1,200	1,500
増減率(%)	1.3%	27.9%	37.5%
(ご参考) 前期(平成17年9月中間期)	135,926	6,583	3,716

3. 修正の理由

(個別業績)

・経常利益につきましては、天然ゴムを中心とした原材料価格高騰の影響を受けましたが、為替レートが円安に推移したこと及び各種内部改善を進めたことにより、当初の予想を上回る見込みです。当期純利益につきましては、経常利益の増加に加え、当社が保有する投資有価証券の一部を売却したことによる特別利益が計画より増加したことによるものです。

(連結業績)

・経常利益、当期純利益ともに個別業績の理由に加え、主として北米連結子会社の収益改善が進んだことによるものです。

4. 平成19年3月期(平成18年4月1日~平成19年3月31日)の連結・個別業績予想について

・通期の業績予想(連結・個別)については、中間決算発表時に公表させていただく予定です。

以 上